

氏名： 小風 秀雅 (KOKAZE Hidemasa)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 教授
学位： 文学博士 (1995 東京大学)
専門分野： 日本史学 (日本近代経済史、経済政策史、交通史)、国際日本学
E-mail： kokaze.hidemasa@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

近代化／不平等条約／産業遺産／企業史料
MODERNANIZATION / UN-EQUAL TREATY SYSTEM / INDUSTRIAL HERITAGE / BUSINESS ARCHIVES

◆主要業績

総数 (11) 件

- ・編著『日本近現代史』放送大学教育振興会、全 220 ページ
- ・共著『日本の歴史と社会』放送大学教育振興会、全 265 ページ、執筆部分 171 ～ 195 ページ
- ・単著『湘南の風景』茅ヶ崎市、50 ページ
- ・編著『回想の湘南』藤沢市、180 ページ
- ・論文「足尾銅山に対する第三回鉱毒予防工事命令の再検討」(『日光市文化財調査報告第一集・足尾銅山跡調査報告書』49 ～ 71 ページ)

◆研究内容 / Research Pursuits

19 世紀における世界システムのサブシステムとしての不平等条約体制について、不平等といわれてきた諸条件について再検討し、東アジアに対する植民地化の意図が欧米には存在しなかったことを明らかにした。
また、日本における世界遺産候補の選定に関与した。

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部生に対しては、日本近代史に関する特殊講義、および演習、近代都市形成に関する概説。近代史料の解説についての講読。大学院生に対しては、修士論文、博士論文の作成指導。

◆研究計画

日本の近代化を主導した明治期の大久保利通に関する政策史的な視点からの総合的研究。従来積み重ねてきた研究をまとめることで可能となると思われる。

世界遺産候補の物件の価値に関する歴史学的検証を含む世界遺産候補の総合的研究については、共同研究をすでに実施しており、今後も継続する予定。

◆メッセージ

世界のなかで、より活動的かつ人間的に生きていくためには、ひとつの立場にとらわれずに、世界を多面的かつ全体的にみることでできる教養と広い視野をもつことが絶対に必要です。

さまざまな文化や歴史、社会をとらわれない目で見、理解し、行動するためには、歴史学の複眼的視点はとても役に立ちます。世界遺産なども、人類史という視点から、自国の文化財を見直す良いきっかけとなります。

大学という自由で活気に満ちた環境のなかで、21世紀を切り開く人材へと自己成長するためにも、ぜひ大学で、新しい歴史学に触れ、感動してほしいと思います。